



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

デフリンピック

最近の新聞記事から

「(声) 楽しみ、日本初のデフリンピック」 (朝日新聞 2025 年 10 月 25 日 朝刊 12 面)

「デフリンピック：サインエール デフリンピック応援、目に届け」
(毎日新聞 2025 年 10 月 16 日 朝刊 21 面)

「デフバスケ女子 サイン駆使 目指せ「金」 指で素早く作戦伝達」
(読売新聞 2025 年 9 月 24 日 朝刊 19 面)

デフリンピックとは、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD) が主催する、デフアスリート (耳がきこえない・きこえにくいアスリート) を対象としたスポーツ大会です。4 年毎に夏季大会と冬季大会がそれぞれ開催されます。

選手同士が耳のきこえない立場で公平にプレーするという観点から、競技会場内では練習、試合を問わず補聴器等の装用が禁止されています。その代わり、国際手話のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による選手への情報保障が行われることが特徴です。

第 1 回は 1924 年夏にフランスのパリで開催されました。第 1 回の開催から 100 周年を迎える 2025 年大会は、日本初の開催地となる東京で、11 月 15 日から 26 日の 12 日間にわたり 21 の競技が実施されます。本紙ではデフリンピックについて知るために役立つ資料を紹介します。

【東京 2025 デフリンピックについて知る】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等
東京 2025 デフリンピック 大会ポータルサイト	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 https://deaflympics2025-games.jp Web 情報
東京 2025 デフリンピックの公式サイト。大会の概要やデフリンピックについての説明をはじめ、実施される競技の種目紹介や、選手がきこえない状況下ならではのの特徴も記載する。また、競技日程や競技会場のマップ、観戦に関する案内などをまとめた「競技観戦ガイド」も掲載する。	
TOKYO FORWARD 2025	東京都 https://www.tokyoforward2025.metro.tokyo.lg.jp/ Web 情報
2025 年に東京で開催される 2 つの国際スポーツの祭典「世界陸上」と「デフリンピック」を特集するサイト。両大会に参加するアスリートの紹介に加え、社会で活躍する聴覚障害者の方々へのインタビュー記事「2025 をつくる人たち」も掲載する。	

【デフリンピックの歴史や記録について知る】

デフリンピック	一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会 https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics Web 情報
全日本ろうあ連盟が作成したデフリンピック及びデフアスリートについてのパンフレットの他、国際ろう者スポーツ委員会の発表した ICSD 憲章の日本語訳や、デフアスリートの競技環境やデフスポーツの種目について解説した資料「デフアスリートをささえる」などを掲載する。	

デフリンピックの過去と現状	小倉和夫 『パラリンピック研究会紀要』(24 巻 2025) p13-48 http://para.tokyo/uploadimages/24-Ogoura.pdf Web 情報
デフリンピックについて、歴史のまとめに留まらず、関連団体や財政面、選手に対する報道の分析など、幅広い視点から論じている。掲載元である『パラリンピック研究会紀要』は、全ての号が日本財団の公式サイト(http://para.tokyo/bulletin/)で公開されている。	

【デフリンピックを支える人・モノ・環境を知る】

手話・言語・コミュニケーション No.13 特集 ろう者とスポーツ	全国手話研修センター編 文理閣 2025 中央：8019/6/13 図書	
手話・言語・コミュニケーションに関する話題を、教育、文化、医学など多角的な視点で編集するシリーズ。本号は「ろう者とスポーツ」を特集しており、デフリンピックで使われる国際手話の通訳者の役割や、スポーツを通したろう者の意識変容などを取り上げている。		
聴覚障害者スポーツーデフリンピックを中心にー	『特別支援教育』 (No. 60 2015) p44-47 西部 雑誌	
連載講座『障害者スポーツの紹介』内の一記事。デフリンピックにおける日本選手団の活躍や、聴覚障害者を対象としたスポーツ大会の広がりについて紹介するとともに、特別支援学校での体育の授業やスポーツ活動の様子にも触れている。		
筑波技術大学とデフリンピック	『聴覚障害』 (2025 年夏号 2025) p62-65 西部 雑誌	
聴覚・視覚障害者のための大学である筑波技術大学が、デフリンピックに向けて取り組んでいる活動を紹介する。他大学での出前授業や歴史を伝えるパネル展の開催といった周知活動に加え、大会運営への協力や日本選手団のサポートについても取り上げている。		
障害者とスポーツ文献目録 リハビリからパラリンピックまで	結城俊也, 富川理充編 日外アソシエーツ 2020 西部：78031/3 図書 [参考図書]	
日本国内で発表された障害者スポーツに関する資料(図書：戦後～2019 年 11 月・雑誌記事：1990 年～2019 年 11 月)をまとめた目録。「デフリンピック」の項は p195 にあり、図書 1 冊、雑誌記事 11 点が紹介されている。また、各競技に加え「障害者スポーツの歴史と現在」や「障害者スポーツをとりまく環境」といった事項についても立項されている。		
デフリンピックに向けた聴覚障害者・訪日外国人等への「音のユニバーサルデザイン」実地検証	『JREA』 (2024 年 11 月号 2024) p33-37 西部 雑誌	
日本鉄道技術協会が刊行する鉄道総合技術の月刊誌。該当記事では、東京メトロが聴覚障害者・訪日外国人へ向けに行う情報発信について、駅構内アナウンスを多言語で文字化する「みえるアナウンス」の概要や試験導入の結果を中心に取り上げている。		
国際手話のハンドブック	大杉豊編 三省堂 2002 西部：37828/7 図書	
デフリンピックでは、国際手話が大会のコミュニケーション手段として使われる。本書ではろう者の国際的なイベントなどで使われている「国際手話」を紹介する。また、手話の基本をなす身振り・コミュニケーションと各国の特徴も図を交えてわかりやすく解説している。		